


退職者 NO.79

こだま会報



創りましょう 平和で豊かな 高齢者のくらし

目次

- コラム「散歩道」……①
- 楽しい趣味の会……②
- こだま俳壇／予告……③
- 会員紹介
「杉本明子さん」……④
- つくろう「コレクティブ
ハウス」／投稿「月500円
の社会貢献」……⑤
- 署名ありがとう……⑥
- 県立病院の独立行政法人
化を考える……⑦
- 平和がいちばん……⑧



雪あそび (雨宮和雄さんの作品)

散歩道

毎朝の落ち葉そうじにうんざりする秋。柿の葉や桜の葉の落ち葉。「一度にザアッと散ってくれればいいのに！」とひとごととも言いたくなる。

そんな時、ふと気がついた。「同じ樹なのに、どうしてこんなにそれぞれ違う色なのかしら?」。黄・赤・緑が、いろいろなに混ぜ組み合わさっている。落ち葉になっても、それぞれが自分をしっかりと主張しているようだ。

裏の山が一面「桃色」に染まっていることに圧倒された思いをしたのは、疎開した時のことだった。「ピンク」なんて軽やかな色ではない。もっともその頃は、「びんく」なんていう「ことば」はなかった。「桃色」。そこは桃の畑で、ちょうど桃の花が満開に咲いていたのだった。「きれい」というより「すごい」と圧倒された思いがしたことを、今も覚えている。

若葉の季節、5月。「若葉」「若い」というだけで存在意義が認められる特権を、薄い薄緑色の葉は、堂々とそよがせる。花は蜜蜂に飛んできてもらうため

色・いろいろ

山本 文子

に、各々必要な色(香りと共に)を発している。花の色は花の自己主張なのだ。自分たちの生存、繁栄のためなのだ。だから圧倒された思いがしたのかも知れない。

動物にも見事な色を見せられることがある。我が家の近くの洗足池に来る鴨たち。彼らの、特に頭の色は何色と言えはよいのだろうか。太陽の光にちょうど良い角度に照らされた時の色。緑色やむらさき色。息を呑む見事さである。なかには茶色の頭の種類もいる。この茶色がまた見事なのだ。「人間の茶髪に染めている人は、あの鴨の茶髪を見れば、自分の長髪は恥ずかしくなってしまうに違いない」と常々私は思っている。

動物や植物は、天地創造の神に与えられた色に身を任せている。しかし、私たち人間は一生の始めから終わりまで、「私はこんな色なの! この色に見てほしい!」と、自分の存在と希望と成果を主張しているのだ。

うすっぺらでないしっかりした色に、私は染まってきているかな!?





大善寺にて (写真は伊藤喜治さん)

5日の『歴史教室』。定刻20分前に集

「三浦氏」の跡を追って 衣笠城跡周辺 を散策

歴史教室

楽しい趣味の会 「趣味の会」は長生きの 散歩道



一緒に
歩きましょう

合場所「衣笠」駅に到着する。見慣れた顔、顔がすでに大勢集まっていた。挨拶を交わし、後尾について歩く。天気恵まれ、歩くには格好の日和である。
旧制中学から新制高校と変わり、勉強より軍事訓練で明け暮れの日々で、歴史など縁のない科目であった。日が経って今日、歴史を学ぶにあたり、物の見方が多面的、多角的にな

いろいろな

食材で美味しく

現役とも楽しく交流

料理教室

県職労連壮年部と共催の「料理教室」も17回目になりました。昨年10月6日、横浜市「フォーラム南太田」で13人の参加で実施。講師はこだま会幹事の飯塚先生です。
メニュー① 秋野菜の素揚げ・そば
る煮

里芋・かぼちゃ・さつまい芋・大根等を一口サイズに切り、別々に油で揚げる。別のなべでひき肉を炒め、しょうゆ・酒・みりん・砂糖の調味料とカツオのだし汁を加え煮立てる。油で揚げた食材を鍋に移し汁をからませ、粉山椒を加え、強火にして水溶き片栗粉を少量ずつ加え、あんかけ状になるように仕上げる。

り、歴史が遠いものでなく、身近く感じられる。衣笠山にまつわる歴史を講師の中村会員より聞くにおよび、ますますその感が強くなる。
歩くことには自信があり、また楽しくもある。遅れじと後につき、城跡から満昌寺、満願寺などを散策する。楽しく過ごせ、満足の一日であった。参加者は9人。(平野幸次郎)



恒例の「料理教室」

メニュー② 秋の味覚の炊き込みご飯
きのこ・鶏肉・油揚げ・しょうゆ・酒、食材はできるだけ細かめに切る。お米と混ぜ、初めから共に炊く。

「健康は食にあり」です。季節ごとにいろいろな素材で、美味しく、見た目にも食欲がそえられるように心がけました。自分たちで作った食べ

やすい味付けに十分満足したでき栄えてした。現役の方たちとの交流の場もできる楽しい教室でした。
今回の企画は、以前に実施した「松原村のログハウス田舎暮らしはどうか」という意見も出ておりました。(叶井進一)

現職を交え47人が熱戦

囲碁大会

名人戦4勝賞は中川徹さん

昨年の12月2日、「プラザフェスタ」で賑わうかながわ労働プラザ(横浜・石川町)で開催された「こだま会囲碁大会」に、県庁OB、現職など47人が参加しました。

試合前、久しぶりに会った仲間と談笑する光景が見られた会場は、10時半対局開始と同時に一転し、熱気に包まれ、午後4時過ぎまで熱戦が繰り返されました。

激戦を勝ち抜き、各クラスで「4勝賞」に輝いたのはいずれもOBで、名人戦・中川徹さん、段級戦A・山田洋一さん、段級戦B・石井紀男さんでした。

OBの活躍が目立つなか、強豪がひしめく名人戦で、現役の池田賢さんがみごと「3連勝賞」を獲得したのは特筆すべきことでした。女性で

(3面につづく)

こだま俳壇 (12月)

死期迫る夫の爪切る神無月

三井 光子

末枯や杖をたよりに冬迎ふ

白石 為康

深川の newly 流し年の暮れ

鳥海 敏雄

燃費高ハウスいちごに霜の声

小川 水草

冬月光横浜港は飛鳥Ⅱ

井村 友彦

冬灯し足の爪切る風呂上り

木村 武子

絵書き初め赤白緑パレットに

高橋 和江

寒蠅も残りて日向老いの暮

白井保次郎

浮寝鳥でんぐり返り船が行く

横川美代子

九条ピラ手渡す夫の冬帽子

島田多嘉子

カトレアの花を選びて年詰る

中村 桂子

独居の焼つどい折る桜紅葉

湯川 勉

警備艇律儀に冬麗を制す

山本つぼみ

(2面からつづく)

3賞した木村武子さん、鈴木真由美さんの健闘も印象に残りました。

また、尚司和子先生の指導暮も行われ、指導を受けた多くの仲間が、プロの凄さ、恐ろしさを実感し、昼食抜きで熱心にやさしく指導くださった先生に感謝していました。



熱戦を展開・囲碁大会 (写真は青沼慶祐さん)

対局の合間には、コンサートやフラグダンス・ヨガ・太極拳の無料体験、チャリティーバザー、健康体力測定など、多彩な催しがあった「プラザフェスタ」を楽しみました。

(登 豊吉)

見直しました

「さつま芋御飯」

食文化を楽しむ会

昨年11月22日、横浜市西部地区センターで開催。参加者は7人。

* * *

さつま芋といえば、戦中戦後の食糧難の時代、まずくて、いやというほど食べさせられた印象が強い。こう思う方が多いのでは…。

今回の「さつま芋御飯」は、白いお米の中に黄色のお芋がキラキラ輝き、美味しかった。「カンコロ飯」とは大違いでした。

〈風邪予防のメニュー〉

①党参(とうじん)とさつま芋御飯

薬膳料理

党参の漬け汁と少しのお酒で炊くのが特徴。(※とうじんは2つ入る人参の根っこを乾燥させたもの)

②栗と山芋入り筑前煮

鶏肉・紅花・栗・山芋・茹で筍・はす・人参・ごぼう・コンニャク・干し椎茸・生姜・青味の12食材。炒め煮にする。

③錦なます

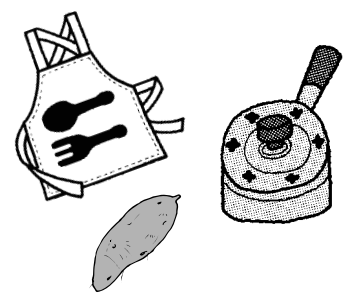
大根・人参・菊・さうり・きくらげ・ゆずの酢の物。

④杜中入り五目スープ

杜中を煮た汁(2分の1に煮詰める)を使う。食材適宜。温まる。

⑤金銀花入りフルーツ煮

発熱の風邪に良い。(※金銀花はスイカズラの花) (木村武子)



予告!! 予告!! 予告!!

講義と散策を通じて一緒に歴史を

楽しみませんか

歴史教室①(講義)初心者大歓迎
テーマ▶小栗上野介とその軌跡

とき▶3月10日(月)
13時30分~15時30分

ところ▶こだま会事務所がある
県横浜合庁5階会議室

講師▶中村猪一郎会員

参加費▶無料

申込先▶電話&FAX

045(361)0112(佐藤喜治)

歴史教室②6月(散策)

長尾砦と田谷洞穴

歴史教室③9月(講義)

源頼朝と頼朝のりより

歴史教室④11月(散策)

日本武尊を追って走水へ



県を無事卒業してから早3年が経過。年を重ねると月日の経つのは本当に早い。往事(今も)寝坊な私に

とって、早起きは三文の得どころか毎日大損している気分であった。日曜日の夜ともなれば、まさにサザエさん症候群。また早起きの毎日が当分続くのかと思っただけで憂鬱になる。よくもまあ、40年以上も続いたものと我ながら驚嘆。最もこんな中には遅刻もかなりあったかと。

今にして思えばいろいろあった県庁生活。入庁した時は毎日が、楽しんで、の教育庁暮らし。まさに青春を謳歌し、人との大切な繋がりを学んだ所。

そして長く勤めるならばと心機一転、ズボラな性格を一時中断、資格取得(神奈川県中小企業指導士)に珍しく真面目に励んだ結果、ここから先の人生が戦いの日々(中小企業大学校1年研修、女性門戸開放運動)になるうとは...

所属長の熱いエールに送られて、ようやく実現した花の商工は、私に

* * *

とっては砂漠の商工だった。潤いも目印もなく、聞いたこともない言葉が頭上を飛び交う。おまけに男尊女卑の輩がゴロゴロ、ジェントルな教育とは大違いで目が点に。

しかし、問題山積のおかげで、また素晴らしい人たちにも出会えた。名前の前に「あの」と週刊誌並みに枕詞がついていると言われ、有名になったもんだと自嘲気味に切り替え

日々好日

杉本明子さん



した私も、はたから見れば何とも可愛げのない女だと...

* * *

そしていま、支援を頂いたおかげで取得できた資格(中小企業診断士)を駆使して、誰からも規制されず、楽しみながらマイペースで社会と関わりあえる楽しさを日々堪能できる幸せを噛み締めている。お仕着せの再任用でもなく、ひらめ族の圧力も

かからない自由な意見交換のできる環境と関わる人たちに感謝し... (ひらめボヤキ: 我らは食に貢献してんのに、煮ても焼いても食えねえ奴等の例えなんかにするない!)

で、ふと我に返ると欲張って手を出した趣味の世界も、ものになったのは生け花とアレンジメントくらい

で、アレもコレもみくんな中途半端ひらめに対抗して飛び魚にでもなればカッコいいところだが、さしずめ私は不器用でお騒がせなお祭りマンボウといったところか。

そのためには、まず健康第一で。これだけは自信があるかも。

* * *

追伸 生け花教室: 毎週火曜日6時
自治会館703号室で実習。ク
ラブ費・受講料、1回1000円
+花代(1000)~1200円程
度。単回参加自由。
連絡先・杉本明子045(844)2
350

予告!! 予告!! 予告!!

●俳句教室 毎月第3木曜日1時から、こだま会事務所で開催。春と秋の吟行(旅先での句会)もあります。初心者の方も大歓迎。楽しい句会です。指導 山本つばみ先生(阿不利嶺主宰)

会費 500円

とき 第3木曜日13時~16時(2月21日・3月は祝日のため27日に延期・4月17日)

場 所 こだま会事務所
申込先・問合先 電話042174212253 (小川政則)

●囲碁同好会 月例会に気軽にご参加を。

とき 毎月第1日曜日11時~(2月3日・3月2日・4月6日)

ところ 囲碁サロン「有心」(横浜駅西口大洋ビル6階)

会費 700円

申込先 電話045178217665 (青沼慶祐)・045182417155 (登 豊吉)

絵画

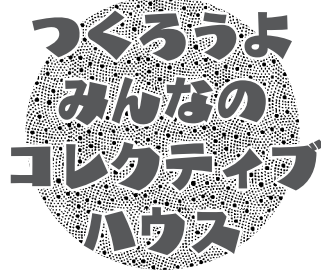
谷川温泉から万太郎山

(水彩22×15cm・07年)
河合幹彦さんの作品



求む！ 適地情報を

「こだま会報」76号に、北欧やヨーロッパ諸国で普及している「コレクティブハウス」「コーポラティブハウス」などと呼ばれる、共有スペース(厨房・食堂・読書ルーム・音楽ルーム・スポーツジム)をたつぷりと有したマンションに、元気な人から要介護の人まで、新しい家族を構成して生活している記事を紹介したところ、いろいろとお便りが寄せられました。



土地探しをスタート

関心のある者たちで、とりあえず

営委員であるが、この定例会は夜間なので、今は他の仕事に労力をとられてほとんど欠席している。その代わりという訳でもないが、

「福祉マンション研究勝手連」(仮称)をつくって土地探しを開始。さっそく二俣川駅近辺や衣笠駅近辺の土地を調査しました。土地を取得することで、建物のイメージや生活のあり様が見えてくるのでは

と思っています。

家族・友人が訪ねやすい場所

横浜駅から電車1本で乗り換えなし、施設まで1時間以内(例外・小田急線沿線は個々の条件で判断)、駅から徒歩10分以内という設定で、家族や友人がたずねやすい場所を探しています。

面積は200坪から300坪、地目・宅地。用途地域・第1種住居専

用NPO法人やグループであるが、過去に助成を受けたグループの中にDV被害者のためのシェルターや、フリーピン人移住女性と子ども

用地域。2〜3階建て、少なくとも9人以上、できれば30人が居住できる土地を目標にしています。小さくとも農園があるとGoodです。

土地購入資金は：

問題は土地購入の資金で、今の段階で1億5千万円が限界です。土地資産の取得については、投資事業組合やファンド(NPO法人・株式会社・社会福祉法人・個人などあらゆる形態)を検討しています。

* * *

適地の情報や、この企画にお力を貸してください。鳥居伸太郎までご一報ください。電話045-1212-3179 (こだま会事務所)

毎月500円の社会貢献

新井 通子



「ファンド」の最大の目的である寄付金集めに力を入れている。集まった寄付金の助成対象は、乳幼児から青少年を対象にサポート活動をして

ためのセンターがあつて、個人的にも応援したい心境にある。しかし、「ファンド」の発展を考えれば、一人が深くかかわるより、一

人でも多くの人に関心をもたれるのが何より大事。ゆうちょ銀行で、毎月500円から振込みできる便利さからか、中高生の会員もおり、それなりに広がりはあるが、ぜひ年金世代の応援も欲しいものである。孫の誕生、結婚、退職記念などに、単発の寄付も大歓迎。お気持ちのある方は「神奈川子ども未来ファンド事務局」045(212)5825へお電話を。寄付は所得税控除の対象になります。

投稿

学習会・シンポジウムなどをやっている。もう一つが「神奈川子ども未来ファンド」の運

仕事と趣味を合わせて、長年かかわってきた女性問題であるが、原点は子育てにあると思つて、近年は市民活動にかかわっている。一つには、横浜市内各区で活動している団体やグループの代表からなる「1万人子育てフォーラム」であるが、毎月定例会を持ち、調査・提言・



日本高齢者大会in横浜 (07年9月18日)

高齢者・国民が安心して 医療を受けられるように

■高齢者に負担増と差別医療を 強いる後期高齢者医療制度をや めさせましょう

署名ありがとうございます

昨年10月の「こだま会報」78号の
発送に同封し、ご協力をお願いした
署名とアンケートは昨年11月27日に
集約した結果、次の数になりました。
「後期高齢者医療制度の廃止・撤回
署名」(659筆)。「かながわ考古
学財団廃止反対署名」(401筆)。
「県立病院存続アンケート」(85枚)。
今回は、このようにいくつかのお
願いが重なったため、皆様にもわづら
わしさをおかけしたと思います。そ
のこともあって、昨春の「年金一元
化反対署名」(1135筆)には及
びませんでした。
しかし、署名のとりくみを通して

左記のようなお便りもいただき、事
務局一同、大変励まされました。
会員のみなさん、後期高齢者医療
制度の中止・撤回のとりくみは続
きます。あきらめずに頑張りましょ
(事務局長・加藤利秋)



みなさんから寄せられた署名を整理

湊 ふみさんからの便り

前略 ごめんください。役員の皆様
には何時もお世話になっております。
退職後、20年以上もたち、大分歳を
とってしまいました。「こだま会」に
入会した当時は、箱根の「大平荘」で、
踊り等を披露させていただいたこと
もありました。懐かしいです。今年より
長男の所に同居することになり、千
葉に来ています。皆様にお役に立てな
くて、申し訳ありません。
今後よろしく「お知らせ」を下さ
い。お待ちしております。当時のみな
さんのお名前はよく覚えて居ます。お元
気でご活躍ください。草々

*湊さんから、署名と一緒に80円切手
を10枚ご送付いただきました。あり
がとうございます(事務局)。

身近な話題をどうぞ

会員のみなさん、紙面を通じて交流
しませんか。俳句や短歌、詩、エッセ
イ、写真、旅行など趣味のことetc。
身近な話題を気軽に投稿を。掲載の場
合は、図書カードをお贈りします。
(編集部)

後期高齢者医療制度 をめぐる県内の動き

神奈川県後期高齢者医療広域連合
の臨時議会が昨年11月16日、横浜
市内で開かれ、議員定数20人中16人の
出席で、保険料等を定める条例案を
賛成多数で可決しました。
決定された保険料は年10万2千2
百円(月額8,510円)で、首都
圏では東京・千葉を上回る高い保
料となっています。
この議会で、高額な負担や制度の
問題点を指摘し、4月実施の中止を
求める発言をし、反対したのは吉岡
議員(日本共産党鎌倉市議)だけ
でした。

住み続けられ地域づくりを支える 自治体病院の充実へ



「自治体病院を充実させよう」と署名を呼びかける県病院事業庁労組

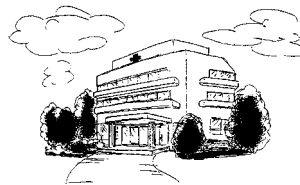
県立病院の「独立行政法人化」は 住民・患者・地域に何をもたらすか

長年にわたる政府の医療費抑制政策で、住民のいのちと健康が脅かされています。人手不足や超過密労働、健康破壊などで病院から医師や看護師が次々退職。診療所や病院の閉鎖も…。神奈川県立病院（6病院）も「経営重視」の名のもとに「独立行政法人化」の動きが急ピッチ。県庁退職者からも不安の声が寄せられています。

いつでもどこでも・誰でも十分な医療を

「4月から始まる後期高齢者医療制度が心配なのには：」「県立がんセンターが儲け優先になったら困るよ」
ことの始まりは、07年知事選の松沢知事のマニフェスト。これを受け、「県立病院あり方検討委員会」が設置され、県立病院の経営形態の見直しを論議。昨年11月15日、同委員会は「県立6病院を一括して一般（非公務員型）地方独立行政法人への移行が望ましい」と結論付けました。

県立病院は、高度専門医療や緊急医療、不採算医療なども担い、県の運営交付金を受け自治体病院としての役割を果たしてきました。



しかし2年前から、「経営効率化」の名のもとに施設運営は「公営企業法全部適用」になり、2年連続赤字。そのうえ今回の「経営形態の見直し」という「独立行政法人化」です。

* * *

「経営の効率化」は大切なこと。しかし病院を自治体から切り離し、採算を最重視する県の医療施策に、「運営交付金による締め付けが徹底され採算第一主義になるのでは」「保険外負担が増えて病院に行けなくなる」「早期退院を強制させられないか」など疑問や危惧の声が上がっています。

独立行政法人法とは——03年7月成立した法律。公立の病院や大学などを県や市の直営からはずし、法人として運営できるようにしたもの。主な目的は「経営の効率化」。独立採算を基本とし、県や市の財政支出を減らすこと。この結果、施設の運営経費削減を余儀なくされ、労働密度は一層強化、住民サービスの低下が危惧される。議会のチェックも弱まり、効果が期待できない時は解散できる。すでに「独法」に移行した大阪府立病院機構では、初診料や分娩料の値上げなどが予定されている。

県病院事業庁労組・県職労連は「独立行政法人化」の問題を広く県民にアピールし、県民と一緒に地域医療を充実させようと、宣伝やハガキアクション運動などを開始しています。昨年12月22日には県下の広範な団体に呼びかけ、「地域医療の充実と県立病院の直営を求める会」を結成。「退職者こだま会」も役員会で検討し、団体で加入し、応援していくことになりました。

いつでもどこでも誰でも十分な医療を受けられるよう、自治体病院を守る世論を広めていきましょう。



首都圏大集会in座間には
13000人が (12月2日)

平和がい・ち・ば・ん

「9条」の大切さを 後世に伝えることは 私たちの使命です

昨年12月2日、座間谷戸山公園で開かれた「首都圏大集会in座間」に参加しました。

悲惨な戦争を振り返り、沖縄や岩国、横須賀、座間の各地から「米軍基地はいらない」「米軍基地再編強化反対」「戦争の司令部はゴメン」という訴えと、現状の報告がありました。

もう一つは「神奈川県職員九条の会」の「輝け憲法! 平和のつどい」(12月7日)です。日本が忘れてはならないこと、国民に知らされな



「神奈川県職員九条の会」の平和のつどい(12月7日)

外国での軍隊の卑劣な侵略、弾圧、植民地化などで被害を受けた人の話を聞いてビツクリ。そして涙しながら思い出しました。

「天皇陛下バンザイ。行ってきます」——こんな言葉を残して出征し

て行った叔父さんのこと。戦地では大勢の兵隊が命を奪われ、国内では軍のため、兵隊さんのためと言われ、鍋・釜まで取り上げられました。母は買出しに走り、食べ物を調達する毎日でした。戦地に行った叔父さん、兵隊さんには「苦勞様」「ガンバレ」「有難う」と言った時代でした。

いまの憲法を守ることに、9条の改悪と改正に反対して、私たちが声をあげて憲法9条の大切さを後世(子ども、孫)に伝えることは使命であると思います。

本年もよろしく願っています

編集部
一同

◆定年バンザイ 再就職して4年6カ月経過し、晴れて年金生活に入りました。税金・医療費・生活費等経済的不安はあるけれど、これほど気ままに自由な日々が送れるなんて思ってもいなかった。(吉澤靖夫)

暖かそうなほのぼのとするようなものをぜひ。(雨宮和雄)

◆初体験 昨秋、北アルプス涸沢の紅葉を見た帰り、バランスをくずして転び、左の手首を骨折しました。初体験です。(虻川弘子)

◆集中心力 だんだん集中力がなくなり、物忘れもひどくなってきた。高齢の先輩が元気なのが何よりの支えである。(米山東伊)

◆今年もよろしく、「こだま会」と「年金者組合」の役員をしています。今年もよろしく。(飯塚武弘)

◆初釣り 年末は「正月用のお魚を」と釣行しかし釣れたためしがなくいつもボウズ。初釣りの釣果に期待して…。皆さん、本年もどうぞよろしく願ひ申し上げます。(鳥海敏雄)

◆無理は禁物 昨年12月7日の「県職員九条の会」の平和の集いでは、パク・キョンナムさんの講演に感動し、元気をもらったが、連日の疲れから急性腸炎でダウン。2日間の絶食でようやく体調が戻りました。(加藤利秋)

◆ほのぼのと 会員の皆様に、巻頭写真の投稿をお願いします。明るく